

KANOYA

広報かのや お知らせ版 Vol.413



TOPIC

総勢648人が鹿児島県下583kmを疾走 肝属チームは総合7位

2月18日～22日、県内12地区のチームがふるさとの誇りを胸に、熱い戦いを繰り広げる「第70回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会」が開催されました。大会前日には、鹿屋市役所で肝属チーム激励のための出発式を実施し、城ヶ崎大地主将（肝属中部土地改良区）が「チーム一丸となり全力で戦い抜きます」と宣誓しました。郷土入りとなる第4日目は、霧島市からハローワークかのや前までの106kmを10人でつなぎ、3区連続区間賞を取るなど奮闘し日間3位を獲得。沿道では地元小学生や園児たちが旗を振って一生懸命応援する姿が見られました。



▲第4日目では終盤で一時的に立つなど、力強い走りでの地元を盛り上げました。